

## SNSの運用について

## 1 概要

R6.7.1 時点で公式としてはX, facebook, LINE, Instagram, YouTubeの5つを運用し、市全体では74のアカウントを運用している。

## 2 公式アカウントの運用状況

- (1) X (主なターゲット：市民, フォロワー数：21,148)  
日常的な行政情報（事前周知・事後報告的な内容）毎日更新
- (2) facebook (主なターゲット：市民, フォロワー数：12,180)  
Xとほぼ同じ内容, 毎日更新
- (3) LINE (主なターゲット：市民, フォロワー数：27,787)  
Xの投稿の中から周知の必要性が高い情報を選定してメッセージ配信, 週2～3回
- (4) Instagram (主なターゲット：市民・出身者等, フォロワー数：7,248)  
旭川の現在の風景・イベント・スポットなどの情報発信, 週2～3回
- (5) Youtube (主なターゲット：市民, フォロワー数：5,294)  
今週の出来事のショート動画, TV広報番組のアーカイブなど, 週2～3回

## 3 課題

- (1) 今後の方向性  
X・facebookとLINE, Instagram, YouTube, それぞれでどのような情報発信を行っていくか。情報の選定方法, 発信の方法などを検討する必要がある。
- (2) 業務量  
現在2人（+休日は課長・係長職）体制で運用。業務量的にはかなり逼迫した状態。  
プラットフォームを絞ることも一つの選択肢として検討する必要がある。
- (3) 庁内のアカウント運用の適正化  
74あるアカウントのうち, あまり更新されていないものも見受けられる。また更新されているものの中でも, ただ投稿することが目的となっているようなものもあり, アカウントの整理, 情報の質の向上が課題としてあげられる。

## 4 検討内容

- (1) X・facebookとLINE, Instagram, YouTubeの方向性や, それぞれのプラットフォームでどのような情報発信が求められているか。
- (2) 5つのプラットフォームすべてで情報発信を行う必要性はあるか。
- (3) 残すべきアカウントはどのようなアカウントか。また投稿の質の向上に求められるものとは。